

1. 基本構成

1. リハビリ機器 一式

1-1. 乾式ホットパック	1台
1-2. 過流浴装置（上肢用）	1台
1-3. 起立訓練台	1台
1-4. トリートメントテーブル	1台
1-5. 平行棒	1台
1-6. 昇降テーブル	3台
1-7. ボバーステーブル	1台
1-8. スプリントカート	1台
1-9. コードレスバイク	3台
1-10. コードレスバイク	3台

2. 基本仕様

（性能・機能に関する要件）

1	リハビリ機器 一式は、以下の要件を満たすこと。
1-1	乾式ホットパックは、以下の要件を満たすこと。
1-1-1	加湿器は、以下の要件を満たすこと。
1-1-1-1	庫内の寸法は幅410×奥行320×高さ560mm以上、容量は75L以上であること。
1-1-1-2	庫内は、トレイ7枚で仕切られており、専用のパックがサイズに関係なく21枚以上収納することが可能であること。
1-1-1-3	曜日ごとのタイマー設定が可能であること。
1-1-1-4	温度設定が40～80℃で設定可能であり、過温防止装置がついていること。
1-1-1-5	現時点の時刻、温度がデジタル表示され、曜日が点灯されていること。
1-1-1-6	消費電力は、440W以下であること。

1-1-2 架台は、以下の要件を満たすこと。

1-1-2-1 ホットパック用の架台は、外形寸法は、幅600×奥行500×高さ600mm以下であること。

1-1-2-2 質量は、11kg以下であること。

1-1-2-3 上面は、ホットパックの脚が載る構造であること。

1-1-3 パックは、以下の要件を満たすこと。

1-1-3-1 パック内部は、6種類の鉱石で構成されていること。

1-1-3-2 鉱石は内袋に収納されており、専用のカバーは交換が可能なこと。

1-1-3-3 専用カバーには、チャックが装備されており、内袋の出し入れが容易に行える構造であること。

1-1-3-4 パックは4種類のサイズがあること。また、各サイズに異なる色のタグがついており、加温器からパックを取り出す際、サイズの確認が容易であること。

1-1-3-5 パックは、Lサイズ4個、LLサイズ6個を付属すること。

1-2 過流浴装置（上肢用）は、以下の要件を満たすこと。

1-2-1 噴流ノズルを5箇所に装備していること。

1-2-2 治療に応じて、渦流および気泡の量を無段階に調節可能であること。

1-2-3 幅広い方法で治療を行えるよう、2つの槽を設けていること。

1-2-4 給湯が完了したタイミングを音声で知らせる機能を有すること。

1-2-5 清掃時の手間を省けるよう、槽底面にヒーターおよびヒーターカバーが存在しないこと。

1-2-6 目にも心地よく治療を行えるよう、噴流ノズルにはLEDライトが付属していること。

1-2-7 安全に使用できるよう、漏電遮断機および空焚き防止機能を有すること。

1-2-8 温・冷を交互に行え、交代のタイミングをお知らせるプログラムモードを有すること。

1-3 起立訓練台は、以下の要件を満たすこと。

- 1-3-1 マットは、抗菌防汚レザー仕様であること。
- 1-3-2 フットプレートは、内反・外反：各 0° ～ 35° （無段階）、底屈： 0° ～ 30° （無段階）、背屈： 0° ～ 35° （無段階）で調整可能であること。
- 1-3-3 手すりは左右独立式で、収納はベッド裏面にあること。また、角度調整可能であること。
- 1-3-4 手すりの高さをフットプレート面より、870～1260mm（無段階）で調整可能であること。
- 1-3-5 0° 自動停止スイッチ機能を有すること。
- 1-3-6 起立範囲は、 -8° 、 $\sim 0^{\circ}$ 、 $\sim 90^{\circ}$ であること。
- 1-3-7 ベッド面の高さは、460～760mmで調整可能であること。
- 1-3-8 固定ベルトは、腹部・大腿部・膝下部の3か所であること。
- 1-3-9 フットスイッチで、起立角度傾斜およびベッド昇降を操作可能であること。
- 1-3-10 緊急ダウンスイッチを本体・手すり先端（左）と2箇所有していること。
- 1-3-11 駆動方式は、電動油圧式であること。
- 1-3-12 耐荷重は、100kg以上であること。

1-4 トリートメントテーブルは、以下の要件を満たすこと。

- 1-4-1 ベット面は、2セクションであること。
- 1-4-2 頭部マットの角度調整が水平面より $\pm 30^{\circ}$ で調整可能であること。
- 1-4-3 ベッド面は、幅800×奥行1950mmであること。
- 1-4-4 ベッド面は、電動で昇降可能で、高さは、450～900mmで調整可能であること。
- 1-4-5 ベッド面は、フットスイッチで昇降可能であること。
- 1-4-6 耐荷重は、150kg以上であること。

1-5 平行棒は、以下の要件を満たすこと。

- 1-5-1 バーの高さは、695～1,015mmの範囲で、50mmピッチで調整可能なこと。

- 1-5-2 バーの直径は、38mmであること。
- 1-5-3 バーは、ループタイプであること。
- 1-5-4 バーの材質はステンレスであり、基台はスチールであること。
- 1-5-5 バーの長さは、3,500mmであること。

1-6 昇降テーブルは、以下の要件を満たすこと。

- 1-6-1 天板の寸法は、1,200×奥行1,200mmであること。
- 1-6-2 キャスター4輪を有すること。
- 1-6-3 天板は木目であること。
- 1-6-4 天板の高さは、630～800mmで調整可能であること。
- 1-6-5 昇降方式は、ガススプリング式であること。
- 1-6-6 天板は、折りたたみ収納可能であること。
- 1-6-7 耐荷重は、60kg以上であること。

1-7 ボバーステーブルは、以下の要件を満たすこと。

- 1-7-1 ベッド面は、幅1,200×奥行1,950mm(±50mm)であること。
- 1-7-2 ベッド面が足踏式油圧により昇降し、高さ405～855mmで調整可能であること。
- 1-7-3 キャスター4輪を有し、ブレーキはアジャスター方式で4輪同時にかかること。
- 1-7-4 耐荷重は、150kg以上であること。

1-8 スプリントカートは、以下の要件を満たすこと。

- 1-8-1 スプリント製作に必要な道具と素材一式を収納する構造になったカートであること。
- 1-8-2 外形寸法は幅650×奥行650×高さ900mm(±50mm)であり、質量は25kg以下であること。
- 1-8-3 キャスター4輪を有し、後2輪にストッパーを有すること。

1-8-4 引き出し式サイドテーブル、樹脂トレイ、シートスタンド、ファイルボックス、バスケット、テーブルタップを付属すること。

1-9 コードレスバイクは、以下の要件を満たすこと。

1-9-1 電源電圧は、DC12Vであり、内臓バッテリー・内部発電方式であること。

1-9-2 負荷装置は、発電式ブレーキであること。

1-9-3 不可制御範囲は、10～250W（1W単位）であること。

1-9-4 負荷制度は、±5W（10～39W）、±10W（40～99W）、±10%（100～250W）であること。

1-9-5 負荷制御方式は、定ワット制御（40～110回転/分）及び定トルク制御（250W以上の場合は、定ワット制御）であること。

1-9-6 表示装置は、バックライト調整機能付きカラー液晶表示器800×480ドットであること。

1-9-7 脈拍検出方式は、専用イヤーセンサによる光電脈波検出及びグリップセンサによる腕間電位差検出であること。

1-9-8 脈拍数測定範囲は、40～220拍/分であること。

1-9-9 体力測定・クイックスタート・ゴール選択（時間・カロリー）定脈拍数（脂肪燃焼・体力向上・目標脈拍数）のプログラムを有すること。

1-9-10 適応身長・制限体重・適応年齢は、140～185cm・110kg以下・12歳以上であること。

1-9-11 ウォークスルーデザインであること。

1-10 コードレスバイクは、以下の要件を満たすこと。

1-10-1 電源電圧は、DC12Vであり、内臓バッテリー・内部発電方式であること。

1-10-2 負荷装置は、発電式ブレーキであること。

1-10-3 不可制御範囲は、10～250W（1W単位）であること。

1-10-4 負荷制度は、±5W（10～39W）、±10W（40～99W）、±10%（100～250W）であること。

1-10-5 負荷制御方式は、定ワット制御（40～110回転/分）及び定トルク制御（250W以上の場合は、定ワット制御）であること。

1-10-6 表示装置は、バックライト調整機能付きカラー液晶表示器800×480ドットであること。

1-10-7 脈拍検出方式は、専用イヤーセンサによる光電脈波検出及びグリップセンサによる腕間電位差検出であること。

- 1-10-8 脈拍数測定範囲は、40～220拍/分であること。
- 1-10-9 体力スコア・クイックスタート・ゴール選択（時間・カロリー）定脈拍数（脂肪燃焼・体力向上・目標脈拍数）のプログラムを有すること。
- 1-10-10 適応身長・制限体重・適応年齢は、140～185cm・140kg以下・12歳以上であること。
- 1-10-11 ウォークスルーデザインであること。

（性能、機能以外の要件）

- 2. 搬入・設置条件及び調整等に関しては、以下の要件を満たすこと。
 - 2-1 機器搬入及び据え付けにあたっては、スケジュール表を事前に提出し、当院担当者に承認を得るものとする。又、別途指示があった場合はその指示に従うこと。
 - 2-2 調達物品の設置にあたっては、当院の設置条件に照らし合わせて、電気（分電盤）容量、建築基準、消防法等関連法規に抵触しないよう予め確認すること。
 - 2-3 落札後、機器設置に際して一次側設備に変更・追加が必要な場合には、必要書類を速やかに提出するとともに、当院担当者、工事監督員、設計監理者及び施工業者との連携を密にし、機器設置（導入）に係わる必要事項について詳細な打ち合わせを行うこと。
 - 2-4 取り付け及び付帯など二次側工事については、落札業者の負担とする。
 - 2-5 入据付に際し、建物等に損害を与えた場合、或いは汚した場合は、速やかに当院担当者に報告し自己の責任において現状復帰、清掃を行いその承諾を得ること。
 - 2-6 搬入、据付、調整、テスト稼働については、診療業務に支障をきたさないよう落札業者が当院担当者と協議の上、その指示を受けること。
 - 2-7 機器搬入にあたっては、その搬入経路の壁・床等必要な個所の養生等を施すこと。又、別途指示のあった場合はその指示に従うこと。
- 3. サービス体制・保守体制に関しては、以下の要件を満たすこと。
 - 3-1 本装置の円滑な運用を実現するための点検、調整および技術的サポートを行える体制を有すること。
 - 3-2 通常使用による故障については、納入後1年間は無償補償に応じること。
 - 3-3 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有することを証明すること。

- 3-4 事故・問題が発生した場合は、当院へ速やかに報告し対応すること。
4. 導入に伴う稼働準備及び運用・教育体制に関しては、以下の要件を満たすこと。
- 4-1 機器の納品検収後、当院関係職員に対して使用説明及び訓練を実施し、その技術を習得できるよう十分な指導をすること。
- 4-2 機器稼働時に技術者を派遣立会いさせ、機器の稼働性能を確認するとともに病院関係職員の使用操作に対し随時指導することとし、その期間は状況により、当院担当者と協議すること。
5. その他
- 5-1 納入期限内に当院が指定した場所に設置し、安定した稼働が可能であること。
- 5-2 調達物品の規格、寸法等の仕様がわかるものを提出すること。
- 5-3 調達物品の取扱については、当院関係職員に対して十分な説明を行うこと。
- 5-4 日本語の取扱マニュアルを紙媒体または電子媒体にて提出すること。